




大久保卿、我老公と御層
 下也、お互に禮懐を待
 其の善き方の望外にお
 東方殖ま居るもの依
 及云、誅を奉りし老公
 七木少奮の及、おる好都
 今も大久保より一通、二
 切松製錦坊に、五本
 七老公の送る光の二切松
 一覽、多し、なとの情
 意、厚物を、送られ、老公
 七感、おる、九月二十三
 日、東、あ、と、な、白米、御
 下向、お、事、行、


右一卷係丙子秋所編
 集今也館山製線場既



と老ふは。送る光の二切
しう一境多しうまとの情
意深物を顕され老ふ
も感るるを。九月二十三日
日東友と為る。白米俵
下向。多事なり。



右一卷係丙子秋所編
集今也館山製絲場既
成栗子新鑿道亦告竣
切
鑿輿從幸將在近不堪
欣躍之至敬以記之

明治十四年七月宮島誠一郎再拜



以也。子。功。を。